

報道各位

テイケイワークス東京・リハス・日本 GLP の 3 社が共同で
 「見える・見守る就労支援施設」を開設
 —業界初の試み 物流施設を拠点に多様性を推進—

次世代の社会インフラである物流施設・データセンター・再生可能エネルギーと関連テクノロジーの開発・運営を行う日本 GLP 株式会社（本社所在地：東京都中央区、代表取締役社長：帖佐 義之、以下「日本 GLP」）は、物流倉庫への派遣・業務請負を中心とした物流系総合人材企業であるテイケイワークス東京株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役：若月 学、以下「テイケイワークス東京」）および、就労継続支援 B 型^[1]事業「リハスワーク」を運営する株式会社リハス（本社所在地：石川県金沢市広岡、代表者：岩下 琢也、以下「リハス」）と提携し、「GLP ALFALINK 流山 2」内に「見える・見守る就労支援施設」として就労継続支援 B 型施設「リハスワーク流山 With テイケイワークス東京」を開設することをお知らせします。物流施設の中で就労支援施設を開設するのは、業界で初めての取り組みです。



「見える・見守る就労支援施設」イメージ

今回の取り組みでは、マルチテナント型施設「GLP ALFALINK 流山 2」において、テイケイワークス東京とリハスが協業し、就労支援施設を開設します。リハスが施設運営に携わり、障がい者の方々が通所して、各人得意なことや強みを活かし、ラベル貼りや箱作り、簡単な組み立てなどの施設内作業を入居テナント各社から請け負います。また、テイケイワークス東京が入居する「GLP ALFALINK 流山 6」の倉庫スペースにおいて、ピッキングなどの施設外作業を行う予定です。この施設外就労では、周辺企業の業務請負や荷物の波動に対応するスポット利用まで、幅広くサービスを提供する予定です。物流現場での就労訓練を通じて、障がい者の方々の働くやりがいと結び、就労支援施設をテナント企業に公開す

ることで、「障がいを抱えていても物流作業ができること」を見て感じて頂き、障がい者雇用の促進を支援していきます。関心を持った企業様はテイケイワークス東京およびリハスに紹介依頼することも可能です。

日本 GLP が推進する「ALFALINK」ブランドは、“Open Hub”をメインコンセプトとし、物流施設の枠組みを超えて入居企業や地域の方々との多様な融合を実現してきました。

「GLP ALFALINK 流山」の施設は、社会的なインフラとしての機能だけでなく、地域コミュニティの一部としてカフェテリアやグリーンエリアを開放し、日常的に利用できる空間を提供しており、流山市をはじめとした周辺自治体とも連携しながら地域社会への貢献を推進してきました。

今回の取り組みは物流業界にとって初の試みとなり、「ALFALINK」が掲げる理念に合致することから開設が決定しました。また実際に「GLP ALFALINK 流山」では、「リハスワーク流山 With テイケイワークス東京」を通じて、管理や清掃業務の委託を検討しております。物流業界は物流「2024 年問題」の雇用確保の課題に直面しており、施設利用者の方々が社会進出を目指す空間を開発・提供することで、物流業界の課題解決の選択肢のひとつとして就労支援施設の人材についての認知を広げ、物流業界そして地域社会への貢献を目指します。

テイケイワークス東京 代表取締役 の若月 学は、「社会貢献・社会課題の解決をテーマに障がい者への活躍の場の提供・労働力不足を解消する為発案した「見える・見守る就労支援施設」を物流施設内に開設できることに大変嬉しく思います。生産年齢人口は今後も減少していくなか、省人化・負担軽減・環境整備と大きく3つの考え方から障がい者雇用や障がいを抱えているご家族が共に活躍できるフィールドを日本 GLP 様・リハス様と協業し、業界初のサービスを提供していきます。就労支援事業所と隣地に施設外就労先を構えることで雇用の拡大、入居企業への紹介、新たな労働力確保に直結すると考えており、合わせて小ロットでも業務を任せて頂くことで、施設提供先を含めて携わる全ての企業がSDGsやESG、ひいてはCSRに繋がると考えております。サブリース事業も行う我々が提案元として、新たな価値創造に繋げて行きます。」と述べています。

株式会社リハス 代表取締役の岩下 琢也は、「昨今の超少子高齢化社会による人手不足が深刻な問題になりつつある我が国において、弊社では「福祉が地域を支える社会の実現（障がいのある方でも当たり前のように地域を支える存在になっている社会の実現）」というビジョンを掲げ、我が国の社会課題解決を目指しております。そのような中で、今回日本 GLP 様・テイケイワークス東京様と協業し、物流拠点である「GLP ALFALINK 流山 2」内に就労継続支援 B 型事業所「リハスワーク流山 With テイケイワークス東京」を開設できることを大変嬉しく思います。」と述べています。

日本GLP 代表取締役社長の帖佐 義之は、「このたび、テイケイワークス東京様とリハス様と協働し、就労支援施設を『GLP ALFALINK流山』に開設できることを大変嬉しく思います。『ALFALINK』は、これまでもすべての人に垣根なく開かれた施設として運営しており、今回の施設開設によって、誰もが生き生きと活躍できる場として、さらに地域の中で発展していくことを期待しています。日本GLPは今後も、持続可能な社会と地域経済の発展に貢献し、社会インフラの一部としての物流施設の社会的役割を果たしてまいります」と述べています。

以上

[1] 就労継続支援は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスで、「A型」と「B型」の二種類があります。「B型」は、一般企業での雇用が難しい方に就労機会や生産活動の場を提供するサービスです。

テイケイワークス東京株式会社について

テイケイワークス東京株式会社は、物流倉庫への派遣・業務請負を中心とした物流系総合人材企業です。関東エリアに 22 拠点を展開し、物流軽作業と呼ばれる「ピッキング」「仕分け」「梱包」「検品」をはじめ「フォークリフトスタッフ」「事務作業」等、様々な作業に対応しています。また物流倉庫以外にも、メディカル関連である院内物流管理システム（SPD）のスタッフや院内機器の滅菌作業員、IT 系人材の育成にも力を入れています。業界トップクラスのサポート体制によって、お客様のニーズ、業務改善に向けた提案、必要な期間、時間に応じた様々なプランの提案も行います。また、スタッフの社内資格取得制度も充実し、常に高いレベルでの派遣を目指しております。

株式会社リハスについて

株式会社リハスは、代表の岩下が作業療法士として病院の勤務経験を通して感じた「障がいのあるなし関わらず、すべての人が活躍できる“障がいのない社会”」を実現するため、2012 年に創業しました。現在、就労支援事業（直営/SFC:ソーシャルフランチャイズ含む）、在宅医療事業併せて 52 拠点を展開（8 月現在）、その他、企業と福祉事業所・障がい者を結ぶマッチング事業「ハタフク」、そして企業が抱える“人材不足”や“障がい者雇用の法定雇用率達成”、“SDGs への取り組み”に関する課題を解決する SX 支援事業（SX:サステイナビリティトランスフォーメーション）を展開しております。

運営する就労継続支援 B 型事業所「リハスワーク」では、「障がいがあっても地域を支える事業所」として、医療・介護・福祉のサポートが必要な人でもはたらく・稼ぐを実現するため、就労支援サービスを提供しています。医療・福祉専門職を中心とした支援を通して、ご利用者様に平均工賃 5 万円を支給することを目標に、ご利用者様 1 人ひとりの得意や強みを活かした仕事を提供しております。

日本 GLP 株式会社について

日本 GLP 株式会社は、2009 年に設立された GLP の日本法人で、同年 3 月に事業を開始しています。日本の主要な物流拠点を網羅する都市で、約 180 物件・総延床面積約 1,100 万㎡の施設を開発・運営しており、都市の生活や経済活動を支える重要なインフラとしての、高機能かつ環境にも配慮した物流施設を提供しています。また、新規事業としてデータセンター、再生可能エネルギー事業を展開しています。GLP では、事業展開している地域社会およびその環境に配慮し、持続可能な社会の形成に貢献すべく包括的な ESG ポリシーを策定しています。

GLP Pte Ltd.について

GLP は、物流不動産、データセンター、再生可能エネルギー及び関連テクノロジーの開発及び運営を行う世界有数の事業会社です。施設運営の専門知識を有し、高品質のビジネスを構築、拡大し、顧客の皆様のために価値を創造しています。アジア、ヨーロッパ、南北アメリカの 17 カ国で資産を保有し、事業を展開しています。GLP Capital Partners (GCP) は、2024 年 3 月 31 日現在、63 のファンドで約 1,240 億ドルの運用資産を有する不動産投資とプライベート・エクイティ投資に特化した世界有数のオルタナティブ・アセット・マネジメント会社で、GLP の専属の投資顧問およびアセットマネジメント会社です。

【本リリースに関する問い合わせ先】

日本 GLP 広報担当（IFC）：竹江／倉持 電話：03-5532-8921